

## 令和4年度 地理歴史科 「地理B」 シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組 選択者
教科書	新詳地理B（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）	副教材等	五訂版最新地理図表GEO（第一学習社）

## 1 学習の到達目標

自然環境・資源・産業・生活文化に関する地域的差異を論理的に考察し、現代世界の多様性を理解する。また、現代世界を系統的・地誌的に捉える地理的な視点や方法を身につけることによって地理的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として活躍できる資質と能力を養う。

## 2 学習の計画

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
4	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能	1章 地理情報と地図	1 現代世界の地図 2 地図の種類とその利用 3 地理情報の地図化	・地図の歴史・地図と人間とのかわりを通して地理的な関心を持つ。
5	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察	2章 地図の活用と地域調査		
		1章 自然環境	1 世界の地形 2 世界の気候 3 日本の自然の特徴と人々の生活 4 環境問題	・自然環境が構成する各地域の特色を理解する。 ・自然環境が人間生活に果たす役割を考察できる。 ・地形図を用いて様々な環境を理解する。
6		2章 資源と産業	1 産業の発達と変化 2 世界の農林水産業 3 食糧問題 4 世界のエネルギー・鉱産資源 5 資源・エネルギー問題	・世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的事項を理解する。 ・エネルギー生産とその消費を生活と関連づけて考察できる。 ・資源・エネルギーについての資料を活用できる。
7				
8			6 世界の工業 7 第3次産業 8 世界を結ぶ交通通信 9 現代世界の貿易と経済圏	・世界の工業についての基礎的事項を理解する。
9				・第3次産業と人間の消費や生活と関連づけて考察できる。

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
10	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察	3章 人口、村落・都市	1 世界の人口                      2 人口問題 3 村落と都市 4 都市・居住問題	・都市・村落の機能や結びつきなどの地域的特色を生活と関連づけて考察できる。
		4章 生活文化、民族・宗教	1 生活文化                      2 民族と宗教 3 現代世界の国家 4 民族・領土問題	・世界の生活・文化・宗教を概観し、その多様性を理解する。
	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察	1 章 現代世界の地域区分	1 地域区分とは何か 2 地域区分のさまざまなスケール	・各地域について、統計資料・写真資料を活用できる。
11		2 章 現代世界の諸地域	1 地誌の考察方法 2 東アジア 3 東南アジア 4 南アジア 5 西アジアと中央アジア 6 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7 ヨーロッパ 8 ロシア 9 アングロアメリカ 10 ラテンアメリカ 11 オセアニア	・各地域の基礎的事項を理解する。  ・各地域の特色や課題を総合的に考察できる。
12				・地誌的調査方法を身につけるとともに地域を比較し考察できる。
1		3章 現代世界と日本	1 日本が抱える地理的な諸課題	・さまざまな課題について地理的観点から考察できる。 ・話し合い考察した内容を適切に発表できる。 ・研究の成果をレポートととしてまとめることができる。
2			2 日本の抱える課題の追究	
3				

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	地理的事象について関心を持ち、課題意識を持って意欲的に追求しようとする。
思考・判断・表現	地理的事象を多角的、多面的に考察している。国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断している。
資料活用の技能	諸資料を活用することを通して地理的事象を追求する方法を身につけている。
知識・理解	世界の生活と文化の地域的特色についての事柄を理解し知識を身につけている。

## 4 評価の方法

考查の成績、提出物の提出状況や内容を評価、課題への取り組みや内容を評価、また、学習活動への関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点からの評価規準も含めて、総合評価していく。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

地理の授業は自分の視野を広げることを目的とし、様々な事柄に興味をもち、新聞やニュースなどに積極的に親しみましょう。また、各項目での考え方・仕組みをしっかり理解しましょう。地名等は必ず地図帳でチェックしましょう。